



「歴史と文化の華薫る郷」
本郷地区文化祭 盛大に開催!

平成30年11月1日現在

人口	14,180人
男性	6,874人
女性	7,306人
世帯数	6,560戸

11月9、10、11日の3日間にわたって、「本郷地区文化祭」が盛大に行われました。メイン会場の本郷公民館では、各町会や各種サークル等の素晴らしい展示や出店がありました。また、浅間温泉文化センターでは、前夜祭、各種発表会、本郷音楽祭が行われました。期間中は概ね好天となり、たくさんの方々が来場され文化祭は大いに盛り上がりました。



小学校から大学生まで出演
本郷音楽祭



信州大学吹奏楽団の皆さんによる
クラリネット五重奏



大きなカステラ作り



本郷図書館職員のお話会



平成30年度 本郷地区文化祭
発表会

文化祭の中日に11団体が発表しました。小学生の太鼓から年長88歳の方の元気な演奏と歌を聴かせてもらいました。

11/10
発表会



11/9
前夜祭

二人合わせて158歳の山口善吉笑楽講、地元出身のトランペッターに信大生のクラリネット。心温まる一夕を過ごせました。感謝。



青空マーケット

野菜を求め年配者、小物作りを楽しむ親子、本のリサイクル開店を待つ人々等、青空の下、老若男女で賑わいました。



館内展示

公民館には、町会と利用サークルの作品が展示されました。町会活動も発表されて、他町会の様子もわかりました。



10/27
雨飾山ハイキング

午前中は小雨に遭いながらも、午後には見事な青空となり、参加した28名は見事な風景を満喫しながら、秋の山道のハイキングを楽しみました。



福祉ひろば&児童センター

福祉ひろばには、絵手紙からパッチワークの大作まで出展されており、多くの人が芸術の秋に触れていました。児童センターでは、子供達による木の実などを使った、秋らしいカラフルな作品が来場者の目を楽しませてくれました。

洞町会

洞町会は、浅間温泉の北約2キロの山懐に抱かれた所にあります。里

山と女鳥羽川に育まれ、夏はホタルが舞いカジカガエルが鳴くなど、山川の風景と併せて「いいところですね」と言ってくれる人が結構あります。

また山の腰の道は、ウォーキングや附属小学校の遠足、美須ヶ丘高校の競歩大会のコースにもなっています。市街地が臨める早落城跡は、「桜柿羊の里」の桜と共に憩いの場所となっています。

わがまち わが町会



小さな町会ですが、その分お互いの状況を知っているの、子供やお年寄りの見守りや防犯上

原町会

原町会第44回親睦大運動会は10月21日、秋空の晴天の下、女鳥羽中

学校校庭で盛大に開催されました。町会人口は約800人。近年新しい隣組が2つ誕生して、運動会会場には赤ちゃん・幼児連れの若い家族が目立つ嬉しい光景でした。6つの常会から150人以上の参加。競技は可愛いお子さん達の駆けっこから始まり、借り物競争、家族リ

も安心感が得られます。例にもれず少子高齢化が進み、町会の運営も様々な模索が続いています。

そんな中、10月14日にふれあい運動会を開催しました。5チームに分かれて多くの住民が様々な種目を競い合いました。閉会後は、恒例の肉鍋と持参のおにぎりで懇親会を行い、お互いの健闘をたたえ合いました。運動会は40回目を迎えた伝統ある行事ですが、役員の負担を考へて、夏祭りや交互に隔年開催を今年から行っています。

町会では、来年法人化を目指しており、先進町会の状況を参考にするなどして住民の意思確認を行う準備をしています。

原町会第44回親睦大運動会は10月21日、秋空の晴天の下、女鳥羽中学校校庭で盛大に開催されました。町会人口は約800人。近年新しい隣組が2つ誕生して、運動会会場には赤ちゃん・幼児連れの若い家族が目立つ嬉しい光景でした。6つの常会から150人以上の参加。競技は可愛いお子さん達の駆けっこから始まり、借り物競争、家族リ



ホタル舞う女鳥羽川洞橋付近

御射神社春宮例祭

(松明祭り)

10/13

大小の松明に火を付け担ぐ、浅間温泉御射神社の松明祭りは天候に恵まれ行われました。松明の真赤な炎、白い煙の温泉街を男女・子供の担手と引き手が勇ましい掛け声に力を合わせ練り歩き、大勢の見物客でにぎわいました。

外国人の観光客も多く、松明の炎と担手の姿を珍しそうにスマホで写真に撮っていました。



防災講座 (第3回)

「災害への備え」

8/18

「防災と科学」について学ぶ第3回講座が日本気象予報士会長野支部宮澤信気象予報士をお招きし開講されました。

講演概要

異常気象と気象災害

松本の今の気温は1000年前の飯田と同じで、西暦2100年には長野県が九州や四国と同じ位暖かくなってしまうという予測も。

台風の将来予測は、来襲数は減少傾向だが、強い台風が増加。

局地的な線状降水帯や猛暑をもたらす気圧配置はいつでもどこにでも起こりうる。

近年の大雨の特徴と地域特性

短時間強雨の将来予測(長野県内)は、夏に大幅に増加。

松本市防災マップには本郷地区の特性として、3つの土砂災害(土石流、急傾斜、地すべり)警戒区域が多数存在することが示されており、全てに備えておく必要があります。

気象情報の把握と活用

(十気象用語の知識)

気象情報には、注意報・警報・特別警報の3種類があるが、警報の段階から注意が必要。

防災気象情報は、気象庁のホームページを開くと、災害の事前予測や災害への対応を知ることが可能。

警報級の発令の可能性について、地域別に5日先までの予測を発表している。

台風の強さは、最大風速のこと、大きさは風速15m/秒以上の範囲(半径)を示す。

急な気象変化とその対応

天気急変の原因は、積乱雲(入道雲)

気象庁は、降水、雷、竜巻の状況を1時間先まで予測した分布図(ナウキャスト)を発表。こまめにチェックを。雷鳴が聞こえたら建物の中や自動車へ避難。

地域や家庭の災害対策

自分の家の周りのリスクを知る。

命を守るためには飲料水の備蓄は最優先。製紙業は東海地方に多いので、大震災に備えトイレトーパーを1年分備蓄する人もいる。

一旦身の安全を確保したにもかかわらず、災害の様子を見に行つて巻き込まれることも多い。

